

（案）

# フェリムゾン 農薬蜜蜂影響評価書

2025年3月5日

農業資材審議会農薬分科会

農薬蜜蜂影響評価部会

## 目 次

<経緯> .....	2
<農薬蜜蜂影響評価部会委員名簿> (第 15 回) .....	2
I. 評価対象農薬の概要 .....	3
1. 有効成分の概要.....	3
2. 有効成分の物理的・化学的性状.....	3
3. 申請に係る情報.....	4
4. 作用機作.....	5
5. 適用病害虫の範囲及び使用方法 (40 製剤、別添参照) .....	6
II. ミツバチに対する安全性に係る試験の概要 .....	8
1. ミツバチに対する安全性に係る試験.....	8
2. ミツバチ個体への毒性 (毒性指標) .....	9
3. 花粉・花蜜残留試験.....	10
4. 蜂群への影響試験.....	10
III. 毒性指標.....	11
1. 毒性試験の結果概要.....	11
2. 毒性指標値.....	11
3. 毒性の強さから付される注意事項.....	11
IV. 暴露量の推計 .....	11
V. 評価結果.....	12
評価資料 .....	12
評価資料 (公表文献) .....	12

<経緯>

令和 5 年 (2023年)	9 月 21 日	農業資材審議会への諮問
令和 6 年 (2024年)	12 月 24 日	農業資材審議会農薬分科会 農薬蜜蜂影響評価部会 (第15回)
令和 7 年 (2025年)	1 月 14 日	国民からの意見・情報の募集
	から 2 月 12 日	
令和 7 年 (2025年)	3 月 5 日	農業資材審議会農薬分科会 農薬蜜蜂影響評価部会 (第16回)

<農薬蜜蜂影響評価部会委員名簿> (第 15 回、第 16 回)

(委員)	(臨時委員)	(専門委員)
五箇 公一	中村 純	永井 孝志
山本 幸洋		横井 智之

# フェリムゾン

## I. 評価対象農薬の概要

### 1. 有効成分の概要

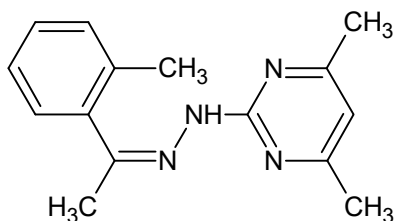
- 1.1 申請者 住友化学株式会社
- 1.2 登録名 フェリムゾン  
(Z)-2'-メチルアセトフェノン=4,6-ジメチルピリミジン-2-イルヒドラゾン
- 1.3 一般名 ferimzone (ISO 名)
- 1.4 化学名  
IUPAC名 : (Z)-2'-methylacetophenone 4,6-dimethylpyrimidin-2-ylhydrazone  
4,6-dimethyl-2(1H)-pyrimidinone (2Z)-[1-(2-methylphenyl)ethylidene]  
CAS名 : hydrazone  
(CAS No. 89269-64-7)
- 1.5 コード番号 TF-164

### 1.6 分子式、構造式、分子量

分子式

C<sub>15</sub>H<sub>18</sub>N<sub>4</sub>

構造式



分子量

254.33

## 2. 有効成分の物理的・化学的性状

試験項目	純度 (%)	試験方法	試験結果
色調・形状	100	目視	白色・固体(粉末)
臭気	100	官能法	無臭
融点	100	OECD 102	174 °C
沸点	100	減圧蒸留法	測定不能 (150 °C以上で昇華、27~40 Pa)
密度	100	OECD 109	0.660 g/cm <sup>3</sup> (20 °C)
蒸気圧	97.2	気体流動法	4.12 × 10 <sup>-6</sup> Pa (20 °C)
熱安定性	100	OECD 113	150 °C以下で安定

試験項目		純度 (%)	試験方法	試験結果																											
溶解度	水	100	OECD 105	208 mg/L (20 °C)																											
	有機溶媒	ヘキサン	100	OECD 105	0.991 g/L (20 °C)																										
		トルエン			39.6 g/L (20 °C)																										
		ジクロロメタン			454 g/L (20 °C)																										
		アセトン			30.2 g/L (20 °C)																										
		メタノール			225 g/L (20 °C)																										
		酢酸エチル			22.8 g/L (20 °C)																										
解離定数 (pKa)		100	OECD 112	4.41 (25 °C)																											
1-オクタノール/水分配係数 (log P <sub>ow</sub> )		100	フラスコ振とう法	2.9 (25°C、pH 7)																											
加水分解性		100	記載なし	半減期 6.2 時間 (25 °C、pH 1.2) 半減期 2.3 日 (25 °C、pH 3) 半減期 12.5 日 (25 °C、pH 5) 半減期 188 日 (25 °C、pH 7) 半減期 8.6 年 (25 °C、pH 9)																											
水中光分解性		100	EPA 161-2	半減期 < 0.25時間 (pH 9、温度調節せず、自然太陽光*) *大阪(北緯35度)、2.2×10 <sup>3</sup> w/m <sup>2</sup> 、300~3000 nm																											
紫外可視吸収 (UV/VIS) スペクトル		100	<table border="1"> <thead> <tr> <th>極大吸収波長 (nm)</th> <th>吸光度</th> <th>モル吸光係数 (L mol<sup>-1</sup> cm<sup>-1</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">中性</td> </tr> <tr> <td>264</td> <td>1.01</td> <td>2.58 × 10<sup>4</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="3">酸性</td> </tr> <tr> <td>258</td> <td>0.873</td> <td>2.22 × 10<sup>4</sup></td> </tr> <tr> <td>319</td> <td>0.347</td> <td>8.82 × 10<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="3">アルカリ性</td> </tr> <tr> <td>216</td> <td>0.387</td> <td>9.85 × 10<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>264</td> <td>1.01</td> <td>2.57 × 10<sup>4</sup></td> </tr> </tbody> </table>		極大吸収波長 (nm)	吸光度	モル吸光係数 (L mol <sup>-1</sup> cm <sup>-1</sup> )	中性			264	1.01	2.58 × 10 <sup>4</sup>	酸性			258	0.873	2.22 × 10 <sup>4</sup>	319	0.347	8.82 × 10 <sup>3</sup>	アルカリ性			216	0.387	9.85 × 10 <sup>3</sup>	264	1.01	2.57 × 10 <sup>4</sup>
極大吸収波長 (nm)	吸光度		モル吸光係数 (L mol <sup>-1</sup> cm <sup>-1</sup> )																												
中性																															
264	1.01		2.58 × 10 <sup>4</sup>																												
酸性																															
258	0.873		2.22 × 10 <sup>4</sup>																												
319	0.347		8.82 × 10 <sup>3</sup>																												
アルカリ性																															
216	0.387	9.85 × 10 <sup>3</sup>																													
264	1.01	2.57 × 10 <sup>4</sup>																													
試験項目		試験方法	試験結果																												
土壌吸着係数		記載なし	K <sup>ads</sup> <sub>Foc</sub> : 171~8105 (5種類の国内土壌)																												
土壌残留性		記載なし	水和剤、水田土壌(2種類) : 半減期 2~9日 (土壌の深さ10 cm、減衰曲線による推定値)																												
		記載なし	水和剤、畑地土壌(2種類) : 半減期 2~17日 (土壌の深さ10 cm、減衰曲線による推定値)																												

### 3. 申請に係る情報

フェリムズンは、2024年11月現在、韓国、ベトナム、マレーシア、台湾で登録されている。

#### 4. 作用機作

フェリムゾン<sup>®</sup>はピリミジノンヒドラゾン系化合物であり、いもち病菌等の膜機能又は脂質生合成系に作用して、菌糸生育及び孢子形成を阻害することで殺菌効果を示すと考えられている。

(FRAC 分類 : U14<sup>※</sup>)

※参照 : <https://www.frac.info/>

## 5. 適用病害虫の範囲及び使用方法 (40 製剤、別添参照)

- ブラシシ粉剤DL及びホクコーブラシシ粉剤DL  
(フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)
- ブラシシバリダ粉剤DL  
(バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)
- ノンブラス粉剤DL  
(トリシクラゾール 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %粉剤)
- ノンブラスバリダ粉剤DL  
(トリシクラゾール 0.50 %・バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %粉剤)
- ブラシシトレボン粉剤DL及びホクコーブラシシトレボンDL粉剤  
(エトフェンプロックス 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)
- ノンブラストレボン粉剤DL  
(エトフェンプロックス 0.50 %・トリシクラゾール 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %粉剤)
- ブラシシトレバリダ粉剤DL及びホクコーブラシシトレバリダ粉剤DL  
(エトフェンプロックス 0.50 %・バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)
- ノンブラストレバリダ粉剤DL  
(エトフェンプロックス 0.50 %・トリシクラゾール 0.50 %・バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %粉剤)
- ブラシシトレボン水和剤  
(エトフェンプロックス 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 10.0 %水和剤)
- ブラシシトレバリダ水和剤  
(エトフェンプロックス 5.0 %・バリダマイシン 2.5 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 10.0 %水和剤)
- タケブラス  
(フェリムゾン 30.0 %水和剤)
- ホクコーブラシシゾル及びブラシシゾル  
(フェリムゾン 20.0 %・フサライド 15.0 %水和剤)
- ブラシシバリダゾル及びホクコーブラシシバリダゾル  
(バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 20.0 %・フサライド 15.0 %水和剤)
- ブラシシフロアブル及びホクコーブラシシフロアブル  
(フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤)
- ブラシシバリダフロアブル及びホクコーブラシシバリダフロアブル  
(バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤)
- ノンブラスフロアブル  
(トリシクラゾール 8.0 %・フェリムゾン 15.0 %水和剤)

- ハスラー粉剤DL  
(カルタップ 2.0 %・クロチアニジン 0.15 %・バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)
- ブラシダントツ粉剤DL  
(クロチアニジン 0.15 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)
- ブラシダントツ H 粉剤 DL  
(クロチアニジン 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)
- ブラシダントツフロアブル  
(クロチアニジン 6.6 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤)
- ブラシキラップ粉剤DL及びホクコーブラシキラップ粉剤DL  
(エチプロール 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)
- ノンブラスダントツフロアブル  
(クロチアニジン 6.6 %・トリシクラゾール 8.0 %・フェリムゾン 15.0 %水和剤)
- トルファン及び住化トルファン  
(バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 30.0 %水和剤)
- ノンブラスバリダダントツフロアブル  
(クロチアニジン 6.6 %・トリシクラゾール 8.0 %・バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %水和剤)
- ブラシキラップフロアブル及びホクコーブラシキラップフロアブル  
(エチプロール 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤)
- ハスラーRX粉剤DL  
(クロチアニジン 0.50 %・メトキシフェノジド 0.50 %・バリダマイシ 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)
- ノンブラスバリダフロアブル  
(トリシクラゾール 8.0 %・バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %水和剤)
- ブレードスタークルゾル  
(ジノテフラン 10.0 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤)
- ブレードスタークル粉剤DL  
(ジノテフラン 0.35 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)
- ブレードスタークルRゾル  
(ジノテフラン 9.0 %・フェリムゾン 13.5 %・フサライド 13.5 %水和剤)

## II. ミツバチに対する安全性に係る試験の概要

### 1. ミツバチに対する安全性に係る試験

フェリムゾンのミツバチに対する安全性に係る試験を表1に示す。

表1：ミツバチに対する安全性に係る試験

試験の種類	評価段階	試験数	公表文献数*
成虫単回接触毒性試験	第1段階	1	0
成虫単回経口毒性試験		1	0
成虫反復経口毒性試験		0	0
幼虫経口毒性試験		0	0
花粉・花蜜残留試験		0	
蜂群への影響試験	第2段階	0	

#### \* (参考) 公表文献の検索結果

(生活環境動植物及び家畜に対する毒性に関する分野)

データベース名: Web of Science (Core Collection)、MEDLINE、KCI-Korean Journal Database、Russian Science Citation Index、SciELO Citation Index及びJ-STAGE

検索対象期間: 2007年1月1日から2021年12月31日

「生活環境動植物及び家畜に対する毒性に関する分野」に該当する文献数	34
-----------------------------------	----



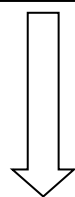
【表題と概要に基づく適合性の有無の評価】  
明らかに評価の目的と適合しない文献の除外

「適合性なし」以外の文献数	0
---------------	---



【全文に基づく適合性の有無の評価】  
評価の目的と適合しない文献の除外

「適合性あり」の文献数	0
-------------	---



【適合性の分類】  
分類基準を設定して全文をレビューし、評価目的への適合性をa、b、cの3つの区分に分類  
区分a: リスク評価パラメーターを設定又は見直すために利用可能と判断される文献  
区分b: リスク評価パラメーターを設定する際の補足データとして利用が可能と想定される文献  
区分c: a又はbに分類されない文献

「区分a」及び「区分b」に分類された文献数	a	b
	0	0



試験生物として「セイヨウミツバチ (*Apis mellifera*)」を用いている

審議の対象とする文献数	a	b
	0	0

※公表文献に関する情報募集(令和5年11月1日~11月30日)で寄せられた情報は無い。

## 2. ミツバチ個体への毒性（毒性指標）

### 2.1 成虫単回接触毒性試験

セイヨウミツバチ成虫を用いた単回接触毒性試験が実施され、48 h LD<sub>50</sub>は >100 µg ai/beeであった。

表 2：単回接触毒性試験結果（資料 1、2010 年）

被験物質	原体						
供試生物/反復	セイヨウミツバチ( <i>Apis mellifera</i> )/ 5反復、10頭/区						
準拠ガイドライン	OECD 214(1998)						
試験期間	48 h						
投与溶媒(投与液量)	アセトン(2 µL)						
暴露量 (設定量に基づく有効成分換算値) (µg ai /bee)	対照区 (水) (死亡率 %)	対照区 (アセトン) (死亡率 %)	6.25	12.5	25	50	100
死亡数/供試生物数 (48 h)	1/50 (2.0 %)	0/50 (0 %)	0/50	0/50	0/50	0/50	0/50
観察された行動異常	なし						
LD <sub>50</sub> (µg ai /bee) (48 h)	>100						

## 2.2 成虫単回経口毒性試験

セイヨウミツバチ成虫を用いた単回経口毒性試験が実施され、48 h LD<sub>50</sub>は >140.4 µg ai/beeであった。

表 3：単回経口毒性試験結果（資料 2、1984 年）

被験物質	原体			
供試生物/反復	セイヨウミツバチ( <i>Apis mellifera</i> )/ 1反復、40~42頭/区			
準拠ガイドライン	記載なし			
試験期間	72 h			
投与溶液(投与液量)	蜂蜜			
助剤(濃度%)	記載なし			
暴露量 (実測値(摂餌量による補正值)に基づく有効成分換算値) (µg ai/bee)	対照区 (無処理) (死亡率 %)	28.87	75.00	140.4
死亡数/供試生物数 (48 h)	0/40 (0.0%)	0/40	0/42	2/41
観察された行動異常	本試験では行動異常を観察の対象としていない			
LD <sub>50</sub> (µg ai/bee) (48 h)	>140.4			

## 2.3 成虫反復経口毒性試験

該当なし

## 2.4 幼虫経口毒性試験

該当なし

## 3. 花粉・花蜜残留試験

該当なし

## 4. 蜂群への影響試験

該当なし

### Ⅲ. 毒性指標

#### 1. 毒性試験の結果概要

毒性試験の結果概要を表 4 に示す。

表 4：各試験の毒性値一覧

毒性試験	毒性値	
	エントポイント	試験1
成虫単回接触毒性	48h LD <sub>50</sub> ( $\mu\text{g ai/bee}$ )	>100
成虫単回経口毒性	48h LD <sub>50</sub> ( $\mu\text{g ai/bee}$ )	>140.4

#### 2. 毒性指標値

フェリムゾンの蜜蜂への影響評価に用いる毒性指標値は以下のとおりとした（表 5）。

(1) 成虫単回接触毒性

48h LD<sub>50</sub> 値 (>100  $\mu\text{g ai/bee}$ ) を採用し、毒性指標値を 100  $\mu\text{g ai/bee}$  とした。

(2) 成虫単回経口毒性

48h LD<sub>50</sub> 値 (>140.4  $\mu\text{g ai/bee}$ ) を採用し、毒性指標値を 140  $\mu\text{g ai/bee}$  とした。

表 5：フェリムゾンのミツバチへの影響評価に用いる毒性指標値

生育段階	毒性試験の種類	毒性指標値(単位)	
成虫	単回接触毒性	48h LD <sub>50</sub> ( $\mu\text{g ai/bee}$ )	<b>100</b>
	単回経口毒性	48h LD <sub>50</sub> ( $\mu\text{g ai/bee}$ )	<b>140</b>

#### 3. 毒性の強さから付される注意事項

成虫単回接触毒性及び成虫単回経口毒性共に LD<sub>50</sub> は 11  $\mu\text{g/bee}$  以上であったため、注意事項は要しない。

### Ⅳ. 暴露量の推計

本剤は、昆虫成長制御剤に該当せず、成虫の急性接触毒性（単回接触毒性試験の LD<sub>50</sub> 値）が 11  $\mu\text{g/bee}$  以上であること、及び成虫の急性接触毒性以外の毒性値が超値（成虫単回経口毒性試験 LD<sub>50</sub> : >140.4  $\mu\text{g/bee}$ ）であることから、1 巡目の再評価において、リスク評価を行う対象とはしない。そのため、暴露量の推計は行わない。

## V. 評価結果

フェリムゾンは、申請された使用方法に基づき使用される限りにおいて、ミツバチの群の維持に支障を及ぼすおそれはないと考えられる。

### 評価資料

資料番号	報告年	題名、出典（試験施設以外の場合） 試験施設、報告書番号 GLP 適合状況（必要な場合）、公表の有無	提出者
1	2010	Ferimzone Technical Grade – Acute Contact Toxicity to the Honeybee <i>Apis mellifera</i> L. in the Laboratory Eurofins Agroscience Services GmbH Report No.: TEW-0060 GLP、未公表	住友化学(株)
2	1984	TK-11643Mのミツバチに対する経口毒性 武田薬品工業株式会社 Report No.: TEW-0070J 非GLP、未公表	住友化学(株)
3	2022 (2023修正)	農薬取締法に基づく農薬有効成分の再評価制度に係る公表文献調査報告書 有効成分名：フェリムゾン、TEG-0008J、 公表	住友化学(株)

### 評価資料（公表文献）

該当なし

別添：適用病害虫の範囲及び使用方法（フェリムゾン）

## 目 次

1. 登録番号 17948：ブラシン粉剤DL、 登録番号 17949：ホクコーブラシン粉剤DL （フェリムゾン 2.0%・フサライド 1.5%粉剤） .....	4
2. 登録番号 17951：ブラシンバリダ粉剤DL （バリダマイシン 0.30%・フェリムゾン 2.0%・フサライド 1.5%粉剤） .....	4
3. 登録番号 17954：ノンブラス粉剤DL （トリシクラゾール 0.50%・フェリムゾン 2.0%粉剤） .....	5
4. 登録番号 17955：ノンブラスバリダ粉剤DL （トリシクラゾール 0.50%・バリダマイシン 0.30%・フェリムゾン 2.0%粉剤） .....	5
5. 登録番号 18170：ブラシントレボン粉剤DL、 登録番号 18171：ホクコーブラシントレボンDL粉剤 （エトフェンプロックス 0.50%・フェリムゾン 2.0%・フサライド 1.5%粉剤） .....	6
6. 登録番号 18173：ノンブラストレボン粉剤DL （エトフェンプロックス 0.50%・トリシクラゾール 0.50%・フェリムゾン 2.0%粉剤） .....	6
7. 登録番号 18174：ブラシントレバリダ粉剤DL、 登録番号 18175：ホクコーブラシントレバリダ粉剤DL （エトフェンプロックス 0.50%・バリダマイシン 0.30%・フェリムゾン 2.0%・フサライド 1.5%粉 剤） .....	7
8. 登録番号 18177：ノンブラストレバリダ粉剤DL （エトフェンプロックス 0.50%・トリシクラゾール 0.50%・バリダマイシン 0.30%・フェリムゾン 2.0%粉剤） .....	8
9. 登録番号 18232：ブラシントレボン水和剤 （エトフェンプロックス 5.0%・フェリムゾン 15.0%・フサライド 10.0%水和剤） .....	8
10. 登録番号 18235：ブラシントレバリダ水和剤 （エトフェンプロックス 5.0%・バリダマイシン 2.5%・フェリムゾン 15.0%・フサライド 10.0% 水和剤） .....	9
11. 登録番号 18526：タケブラス （フェリムゾン 30.0%水和剤） .....	9
12. 登録番号 18755：ホクコーブラシンゾル、 登録番号 18756：ブラシンゾル （フェリムゾン 20.0%・フサライド 15.0%水和剤） .....	10

1 3.	登録番号 19023 : ブラシンバリダゾル 登録番号 19024 : ホクコーブラシンバリダゾル (バリダマイシン 5.0%・フェリムゾン 20.0%・フサライド 15.0%水和剤)	10
1 4.	登録番号 19165 : ブラシンフロアブル 登録番号 19166 : ホクコーブラシンフロアブル (フェリムゾン 15.0%・フサライド 15.0%水和剤)	11
1 5.	登録番号 19352 : ブラシンバリダフロアブル 登録番号 19353 : ホクコーブラシンバリダフロアブル (バリダマイシン 5.0%・フェリムゾン 15.0%・フサライド 15.0%水和剤)	11
1 6.	登録番号 20090 : ノンプラスフロアブル (トリシクラゾール 8.0%・フェリムゾン 15.0%水和剤)	12
1 7.	登録番号 20804 : ハスラー粉剤D L (カルタップ 2.0%・クロチアニジン 0.15%・バリダマイシン 0.30%・フェリムゾン 2.0%・フサライド 1.5%粉剤)	13
1 8.	登録番号 21186 : ブラシンダントツ粉剤D L (クロチアニジン 0.15%・フェリムゾン 2.0%・フサライド 1.5%粉剤)	14
1 9.	登録番号 21218 : ブラシンダントツ H 粉剤 DL (クロチアニジン 0.50%・フェリムゾン 2.0%・フサライド 1.5%粉剤)	14
2 0.	登録番号 21702 : ブラシンダントツフロアブル (クロチアニジン 6.6%・フェリムゾン 15.0%・フサライド 15.0%水和剤)	15
2 1.	登録番号 21889 : ブラシンキラップ粉剤D L 登録番号 22964 : ホクコーブラシンキラップ粉剤D L (エチプロール 0.50%・フェリムゾン 2.0%・フサライド 1.5%粉剤)	15
2 2.	登録番号 22257 : ノンプラスダントツフロアブル (クロチアニジン 6.6%・トリシクラゾール 8.0%・フェリムゾン 15.0%水和剤)	16
2 3.	登録番号 22568 : トルファン 登録番号 : 24421 : 住化トルファン (バリダマイシン 5.0%・フェリムゾン 30.0%水和剤)	16
2 4.	登録番号 22891 : ノンプラスバリダダントツフロアブル (クロチアニジン 6.6%・トリシクラゾール 8.0%・バリダマイシン 5.0%・フェリムゾン 15.0%水和剤)	17
2 5.	登録番号 22927 : ブラシンキラップフロアブル 登録番号 22963 : ホクコーブラシンキラップフロアブル (エチプロール 5.0%・フェリムゾン 15.0%・フサライド 15.0%水和剤)	17
2 6.	登録番号 23602 : ハスラーR X粉剤D L (クロチアニジン 0.50%・メトキシフェノジド 0.50%・バリダマイシ 0.30%・フェリムゾン 2.0%・フサライド 1.5%粉剤)	18

27. 登録番号 23690 : ノンブラスバリダフロアブル (トリシクラゾール 8.0%・バリダマイシン 5.0%・フェリムゾン 15.0%水和剤) .....	19
28. 登録番号 24346 : ブレードスタークルゾル (ジノテフラン 10.0%・フェリムゾン 15.0%・フサライド 15.0%水和剤) .....	19
29. 登録番号 24347 : ブレードスタークル粉剤DL (ジノテフラン 0.35%・フェリムゾン 2.0%・フサライド 1.5%粉剤) .....	20
30. 登録番号 24608 : ブレードスタークルRゾル (ジノテフラン 9.0%・フェリムゾン 13.5%・フサライド 13.5%水和剤) .....	20

1. 登録番号 17948 : ブラシン粉剤DL、  
 登録番号 17949 : ホクコーブラシン粉剤DL  
 (フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フェリムゾンを含む農薬の総使用回数	フサライドを含む農薬の総使用回数
稲	内穎褐変病 稲こうじ病 もみ枯細菌病	4 kg/10 a	収穫 7 日前 まで	2 回 以内	散布	2 回以内	3 回以内
	いもち病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 穂枯れ(すじ葉枯病菌) 変色米(カーブリア菌) 変色米(エビコッカム菌)	3~4 kg/10 a					

2. 登録番号 17951 : ブラシンバリダ粉剤DL  
 (バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	バリダマイシンを含む農薬の総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の総使用回数	フサライドを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 疑似紋枯症(赤色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色紋枯病菌) 変色米(アルタナリア菌) 変色米(カーブリア菌) 変色米(エビコッカム菌)	3~4 kg/10 a	収穫 14 日前 まで	2 回 以内	散布	6 回以内 (育苗箱灌注は 1 回以内、 本田では 5 回以内)	2 回以内	3 回以内

### 3. 登録番号 17954 : ノンブラス粉剤DL

(トリシクラゾール 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %粉剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トリシクラゾールを含む農薬の総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 穂枯れ(すじ葉枯病菌) 変色米(カーブリア菌)	3~4 kg/10 a	収穫 7 日前 まで	2 回 以内	散布	4 回以内 (育苗箱への 処理は 1 回以内、 本田では 3 回 以内)	2 回以内
	内穎褐変病 もみ枯細菌病 稲こうじ病	4 kg/10 a					

### 4. 登録番号 17955 : ノンブラスバリダ粉剤DL

(トリシクラゾール 0.50 %・バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %粉剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トリシクラゾールを含む農薬の総使用回数	バリダマイシンを含む農薬の総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 疑似紋枯症(褐色菌核病菌) 疑似紋枯症(赤色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色紋枯病菌) 変色米(カーブリア菌)	3~4 kg/10 a	収穫 14 日前 まで	2 回 以内	散布	4 回以内 (育苗箱への 処理は 1 回以内、 本田では 3 回以内)	6 回以内 (育苗箱 灌注は 1 回以内、 本田では 5 回以内)	2 回以内

5. 登録番号 18170 : ブラシントレボン粉剤DL、  
登録番号 18171 : ホクコーブラシントレボンDL粉剤

(エトフェプロックス 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェプロックスを含む農薬の総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の総使用回数	フサライドを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 変色米(カーブラリア菌) ツマグロヨコバイ ウンカ類	3~4 kg/10 a	収穫 7日前 まで	2回 以内	散布	3回以内	2回以内	3回以内
	カメシ類	4 kg/10 a						

6. 登録番号 18173 : ノンブラストレボン粉剤DL

(エトフェプロックス 0.50 %・トリシクラゾール 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %粉剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェプロックスを含む農薬の総使用回数	トリシクラゾールを含む農薬の総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) ツマグロヨコバイ ウンカ類	3~4 kg/10 a	収穫 7日前 まで	2回 以内	散布	3回以内	4回以内 (育苗箱への 処理は1回以内、 本田では 3回以内)	2回以内
	カメシ類	4 kg/10 a						

7. 登録番号 18174 : ブラシントレバリダ粉剤DL、  
 登録番号 18175 : ホクコーブラシントレバリダ粉剤DL  
 (エトフェプロックス 0.50 % ・ バリダマイシン 0.30 % ・ フェリムゾン 2.0 % ・ フサ  
 ライド 1.5 % 粉剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェプロックスを含む農薬の総使用回数	バリダマイシンを含む農薬の総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の総使用回数	フサライドを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 変色米(アルタリア菌) 変色米(カーブラリア菌) 疑似紋枯症(赤色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色紋枯病菌) ツマグロヨコバイ ウカ類 イコ類	3~4 kg/10 a	収穫 14日前 まで	2回 以内	散布	3回以内	6回以内(育苗箱灌注は1回以内、本田では5回以内)	2回以内	3回以内
	カメシ類	4 kg/10 a							

8. 登録番号 18177 : ノンブラストレバリダ粉剤DL

(エトフェプロックス 0.50 %・トリシクラゾール 0.50 %・バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %粉剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェプロックスを含む農薬の総使用回数	トリシクラゾールを含む農薬の総使用回数	バリダマイシンを含む農薬の総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 ごま葉枯病 穂枯れ (ごま葉枯病菌) 変色米(カーブ リア菌) ツマグロヨコバイ ウカ類 コブノメイガ	3~4 kg/10 a	収穫 14 日前 まで	2 回 以内	散布	3 回以内	4 回以内 (育苗箱への 処理は 1 回以 内、本田では 3 回以内)	6 回以内 (育苗箱灌注は 1 回以内、 本田では 5 回以内)	2 回以内
	カメシ類	4 kg/10 a							

9. 登録番号 18232 : ブラシントレボン水和剤

(エトフェプロックス 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 10.0 %水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用方法	エトフェプロックス を含む農薬の 総使用回数	フェリムゾン を含む農薬 の総使用 回数	フサライドを含 む農薬の 総使用回数
稲	いもち病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま 葉枯病菌) ツマグロヨコバイ ウカ類 カメシ類	500 倍	60~150 L/10 a	収穫 14 日前 まで	2 回 以内	散布	3 回以内	2 回以内	3 回以内

10. 登録番号 18235 : ブラシントレバリダ水和剤

(エトフェンプロックス 5.0 % ・ バリダマイシン 2.5 % ・ フェリムゾン 15.0 % ・ フサライド 10.0 %水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	いもち病 紋枯病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) ツマグロヨコバイ ウカ類 カメムシ類	500 倍	60~150 L/10 a	収穫 14 日前 まで	2 回以内	散布

エトフェンプロックスを含む 農薬の総使用回数	バリダマイシンを含む 農薬の総使用回数	フェリムゾンを含む 農薬の総使用回数	フサライドを含む 農薬の総使用回数
3 回以内	6 回以内(育苗箱灌注は 1 回以内、本田では 5 回以内)	2 回以内	3 回以内

11. 登録番号 18526 : タケプラス

(フェリムゾン 30.0 %水和剤)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	フェリムゾンを含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病 ごま葉枯病	1000 倍	60~150 L/10 a	収穫 7 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内

1 2. 登録番号 18755 : ホクコーブラシンゾル、  
 登録番号 18756 : ブラシンゾル  
 (フェリムゾン 20.0 %・フサライド 15.0 %水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フェリムゾンを含む農薬の総使用回数	フサライドを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病	原液	120 mL/10 a	収穫 7 日前 まで	2 回 以内	空中散布	2 回以内	3 回以内
		30 倍	3 L/10 a					
	いもち病 穂枯れ(ごま葉枯 病菌) 内穎褐変病 もみ枯細菌病	8 倍	800 mL/10 a			無人ヘリコプター による散布		

1 3. 登録番号 19023 : ブラシンバリダゾル  
 登録番号 19024 : ホクコーブラシンバリダゾル  
 (バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 20.0 %・フサライド 15.0 %水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	バリダマイシンを含む農薬の総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の総使用回数	フサライドを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病	30 倍	3 L/10 a	収穫 14 日前 まで	2 回 以内	空中散布	6 回以内(育苗箱灌注は 1 回以内、 本田では 5 回以内)	2 回以内	3 回以内
		8 倍	800 mL/10 a			無人ヘリコプター による散布			

1 4. 登録番号 19165 : ブラシフロアブル

登録番号 19166 : ホクコーブラシフロアブル

(フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フェリムゾンを含む農薬の総使用回数	フサライドを含む農薬の総使用回数	
稲	いもち病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 褐条病 変色米(カーブラリア菌) 変色米(エピコッカム菌) 変色米(アルタリア菌)	1000倍	60~150 L/10 a	収穫 7日前まで	2回以内	散布	2回以内	3回以内	
	稲こうじ病	300倍	25 L/10 a						空中散布
	内穎褐変病	30倍	3 L/10 a						
	もみ枯細菌病 墨黒穂病	8倍	800 mL/10 a			無人航空機による散布			

1 5. 登録番号 19352 : ブラシバリダフロアブル

登録番号 19353 : ホクコーバリダフロアブル

(バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	バリダマイシンを含む農薬の総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の総使用回数	フサライドを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 変色米(カーブラリア菌) 疑似紋枯症(赤色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色紋枯病菌)	1000倍	60~150 L/10 a	収穫 14日前まで	2回以内	散布	6回以内(育苗箱灌注は1回以内、本田では5回以内)	2回以内	3回以内
	内穎褐変病	30倍	3 L/10 a						
	ごま葉枯病 もみ枯細菌病	8倍	800 mL/10 a			無人航空機による散布			

16. 登録番号 20090 : ノンブラスフロアブル

(トリシクラゾール 8.0 %・フェリムゾン 15.0 %水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用方法	トリシクラゾールを 含む農薬の 総使用回数	フェリムゾンを 含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病 菌) 変色米(アルタリア菌) 変色米(エビコッカム菌) 変色米(カーブリア菌) もみ枯細菌病 内穎褐変病 稲こうじ病	1000 倍	60~150 L/10 a	収穫 7日前 まで	2回 以内	散布	4回以内 (育苗箱への 処理は1回 以内、 本田では 3回以内)	2回以内
	いもち病	300 倍	25 L/10 a			空中散布		
		原液	120 mL/10 a					
		8倍	800 mL/10 a					
		30 倍	3 L/10 a					
8倍	800 mL/10 a	無人航空機 による散布						

17. 登録番号 20804：ハスラー粉剤DL

(カルタップ 2.0%・クロチアニジン 0.15%・バリダマイシン 0.30%・フェリムゾン 2.0%・フサライド 1.5%粉剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	ウカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ イネトムシ フタホビヨカガ いもち病	3~4 kg/10 a	収穫 21 日前 まで	2 回以内	散布
	コブノメイガ カメムシ類 紋枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 変色米(カーブリア菌) 内穎褐変病	4 kg/10 a			

カルタップを含む 農薬の 総使用回数	クロチアニジンを 含む農薬の 総使用回数	バリダマイシンを 含む農薬の 総使用回数	フェリムゾン を含む農薬の 総使用回数	フサライドを 含む農薬の 総使用回数
6 回以内(浸種前は 1 回以内、浸種後か ら直播での種時 又は移植時までの 処理は 1 回以内)	4 回以内(直播での種時 又は移植時までの処理は 1 回以内、本田での散布、 空中散布、無人航空機散 布は合計 3 回以内)	6 回以内(育苗箱 灌注は 1 回以 内、本田では 5 回以内)	2 回以内	3 回以内

18. 登録番号 21186 : ブラシダントツ粉剤DL

(クロチアニジン 0.15%・フェリムゾン 2.0%・フサライド 1.5%粉剤)

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロチアニジンを含む農薬の 総使用回数	フェリムゾンを含 む農薬の 総使用回数	フサライドを含 む農薬 の総使用 回数
稲	いもち病 ウカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類 フタホシコヤガ	3~4 kg/10 a	収穫 7日前 まで	2回 以内	散布	4回以内(直播では種 時又は移植時までの処 理は1回以内、本田での 散布、空中散布、無人ヘ リ散布は合計3回以内)	2回以内	3回以内

19. 登録番号 21218 : ブラシダントツ H 粉剤DL

(クロチアニジン 0.50%・フェリムゾン 2.0%・フサライド 1.5%粉剤)

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロチアニジンを含む農薬 の総使用回数	フェリムゾンを含 む農薬 の総使用 回数	フサライドを含 む農薬 の総使用 回数
稲	いもち病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま 葉枯病菌) ウカ類 ツマグロヨコバイ ニカメテユウ フタホシコヤガ イネトムシ カメムシ類	3~4 kg/10 a	収穫 7日前 まで	2回 以内	散布	4回以内(直播では種 時又は移植時までの 処理は1回以内、 本田での散布、空中 散布、無人ヘリ散布は 合計3回以内)	2回以内	3回以内

20. 登録番号 21702 : ブラシダントツフロアブル

(クロチアニジン 6.6%・フェリムゾン 15.0%・フサライド 15.0%水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の総使用回数	フサライドを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ウカ類 カムシ類	8倍	800 mL/10 a	収穫 7日前 まで	2回 以内	無人ヘリコプターによる散布	4回以内(直播 での種時 又は移植時 までの処理は 1回以内、本田 での散布、空中 散布、無人ヘリ 散布は合計3回 以内)	2回以内	3回以内
		30倍	3 L/10 a			空中散布			
		300倍	25 L/10 a			散布			
	いもち病 穂枯れ(ごま 葉枯病菌) ごま葉枯病 ウカ類 ツマグロヨコバイ カムシ類 イナゴ類	1000倍	60~150 L/10 a						

21. 登録番号 21889 : ブラシキラップ粉剤DL

登録番号 22964 : ホクコーブラシキラップ粉剤DL

(エチプロール 0.50%・フェリムゾン 2.0%・フサライド 1.5%粉剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エチプロールを含む農薬の総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の総使用回数	フサライドを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま 葉枯病菌) カムシ類 ウカ類	3~4 kg/10 a	収穫 14日前 まで	2回 以内	散布	2回以内(は種時 (直播)又は移植 時までの処理は 1回以内)	2回以内	3回以内

## 2 2. 登録番号 22257：ノンブラスダントツフロアブル

(クロチアニジン 6.6%・トリシクラゾール 8.0%・フェリムゾン 15.0%水和剤)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	いもち病 ウカ類 カムシ類	8 倍	800 mL/10 a	収穫 7 日前 まで	2 回以内	空中散布
	いもち病 カムシ類	300 倍	25 L/10 a			無人航空機に よる散布
	いもち病 ウカ類 カムシ類	1000 倍	60~150 L/10 a			散布

クロチアニジンを含む農薬の 総使用回数	トリシクラゾールを含む農薬の 総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の 総使用回数
4 回以内 (直播では種時又は移植時までの 処理は 1 回以内、本田での散布、 空中散布、無人航空機散布は 合計 3 回以内)	4 回以内 (育苗箱への処理は 1 回以内、 本田では 3 回以内)	2 回以内

## 2 3. 登録番号 22568：トルファン

登録番号：24421：住化トルファン

(バリダマイシン 5.0%・フェリムゾン 30.0%水和剤)

作物名	適用病害虫名	使用量		使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	バリダマイシン を含む 農薬の 総使用回数	フェリムゾンを 含む農薬の 総使用回数
		薬量	希釈 水量					
日本芝	ヘルミトス <sup>®</sup> リウム葉枯病 カーブ <sup>®</sup> ラリア葉枯病 葉腐病(ラージハ <sup>®</sup> ツチ)	0.5~1 g/m <sup>2</sup>	1 L/m <sup>2</sup>	発病 初期	8 回 以内	散布	8 回以内	8 回以内
西洋芝 (ベントグ ラス)	ヘルミトス <sup>®</sup> リウム葉枯病 カーブ <sup>®</sup> ラリア葉枯病 葉腐病(ブ <sup>®</sup> ラウンハ <sup>®</sup> ツチ) 炭疽病	0.5~1 g/m <sup>2</sup>	1 L/m <sup>2</sup>	発病 初期	8 回 以内	散布	8 回以内	8 回以内
	ダ <sup>®</sup> ラース <sup>®</sup> ツト病	0.5 g/m <sup>2</sup>	0.5~1 L/m <sup>2</sup>					
	ピ <sup>®</sup> シム病 赤焼病		0.2 L/m <sup>2</sup>					
	葉腐病(ブ <sup>®</sup> ラウンハ <sup>®</sup> ツチ)							

24. 登録番号 22891：ノンブラスバリダダントツフロアブル

(クロチアニジン 6.6%・トリシクラゾール 8.0%・バリダマイシン 5.0%・フェリムゾン 15.0%水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	いもち病 紋枯病 ウカ類 カメシ類	8倍	800 mL/10 a	収穫 14日前 まで	2回以内	無人航空機 による散布
		300倍	25 L/10 a			散布
	穂枯れ(ごま葉枯病菌) イコ類	1000倍	60~150 L/10a			

クロチアニジンを含む 農薬の総使用回数	トリシクラゾールを含む 農薬の総使用回数	バリダマイシンを含む 農薬の総使用回数	フェリムゾンを含む 農薬の総使用回数
4回以内(直播では種時 又は移植時までの処理は 1回以内、本田での散布、 空中散布、無人航空機散布は合 計3回以内)	4回以内(育苗箱への処理 は1回以内、 本田では3回以内)	6回以内(育苗箱灌 注は1回以内、本田 では5回以内)	2回以内

25. 登録番号 22927：ブラシキラップフロアブル

登録番号 22963：ホクコーブラシキラップフロアブル

(エチプロール 5.0%・フェリムゾン 15.0%・フサライド 15.0%水和剤)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	エチプロールを 含む農薬 の総使用 回数	フェリムゾンを 含む農薬 の総使用 回数	フサライドを 含む農薬 の総使用 回数
稲	いもち病 カメシ類	300 倍	25 L/10 a	収穫 14日前 まで	2回 以内	散布	2回以内 (は種時(直 播)又は移 植時まで の処理は 1回以内)	2回以内	3回以内
	いもち病 カメシ類 ウカ類	1000 倍	60~150 L/10 a						
		8倍	800 mL/10 a						

26. 登録番号 23602：ハスラーRX粉剤DL

(クロチアニジン 0.50%・メトキシフェノジド 0.50%・バリダマイシ 0.30%・フェリムゾン 2.0%・フサライド 1.5%粉剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	いもち病 紋枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) ウカ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ イネツトムシ フタホヒコヤガ ニカメイトウ カメムシ類	3~4 kg/10 a	収穫 14 日前まで	2 回以内	散布
	内穎褐変病 変色米(アルタリア菌) 変色米(カーブリア菌) 稲こうじ病	4 kg/10 a			

クロチアニジンを含む 農薬の総使用回数	メトキシフェノジドを含む 農薬の総使用回数	バリダマイシを含む 農薬の 総使用回数	フェリムゾンを含む 農薬の 総使用回数	フサライドを含む 農薬の 総使用回数
4 回以内(直播での種時 又は移植時までの処理は 1 回以内、 本田での散布、 空中散布、 無人航空機散布は 合計 3 回以内)	3 回以内	6 回以内(育苗箱 灌注は 1 回以内、 本田では 5 回以内)	2 回以内	3 回以内

27. 登録番号 23690 : ノンブラスバリダフロアブル

(トリシクラゾール 8.0 %・バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	いもち病 紋枯病	1000 倍	60~150 L/10 a	収穫 14 日前 まで	2 回以内	散布
	もみ枯細菌病	8 倍	800 mL /10 a			無人航空機による散布
	いもち病 紋枯病	300 倍	25 L /10 a			散布

トリシクラゾールを含む農薬の 総使用回数	バリダマイシンを含む農薬の 総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の 総使用回数
4 回以内(育苗箱への処理は 1 回以内、本田では 3 回以内)	6 回以内(育苗箱灌注は 1 回以 内、本田では 5 回以内)	2 回以内

28. 登録番号 24346 : ブレードスタークルゾル

(ジノテフラン 10.0 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	いもち病 穂枯れ(ごま葉枯病菌)	1000 倍	60~150 L/10 a	収穫 7 日前 まで	2 回 以内	散布
	稲こうじ病 内穎褐変病 もみ枯細菌病 変色米(カーブリア菌) 変色米(アルタナリア菌)					
	ウカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	8 倍	800 mL/10 a			無人航空機による散 布

ジノテフランを含む農薬の総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の 総使用回数	フサライドを含む農薬の 総使用回数
4 回以内(育苗箱への処理及び側条施用は 合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、 無人航空機散布は合計 3 回以内)	2 回以内	3 回以内

29. 登録番号 24347 : ブレードスタークル粉剤DL

(ジノテフラン 0.35%・フェリムゾン 2.0%・フサライド 1.5%粉剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	いもち病 ウカ類 ツマグロヨコバイ カメシ類	3~4 kg/10 a	収穫 7 日前まで	2 回以内	散布

ジノテフランを含む農薬の 総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の 総使用回数	フサライドを含む農薬の 総使用回数
4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は 合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、 無人航空機散布は合計 3 回以内)	2 回以内	3 回以内

30. 登録番号 24608 : ブレードスタークルRゾル

(ジノテフラン 9.0%・フェリムゾン 13.5%・フサライド 13.5%水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法
稲	いもち病 ウカ類 カメシ類 ツマグロヨコバイ	1000 倍	60~150 L/10 a	収穫 7 日前まで	2 回以内	散布
		300 倍	25 L/10 a			
		8 倍	800 mL/10 a			無人航空機による散布

ジノテフランを含む農薬の 総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の 総使用回数	フサライドを含む農薬の 総使用回数
4 回以内(育苗箱への処理及び側条施用は 合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、 無人航空機散布は合計 3 回以内)	2 回以内	3 回以内

## 「フェリムゾン農薬蜜蜂影響評価書（案）」に対する 意見募集の結果について（案）

### 1. 意見募集の概要

#### (1) 意見募集の対象農薬

フェリムゾン

#### (2) 意見募集の周知方法

関係資料を電子政府の総合窓口（e-Gov）に掲載

#### (3) 意見募集期間

令和7年1月14日（火）～ 令和7年 2月12日（水）

#### (4) 意見提出方法

- ・ 電子政府の総合窓口（e-Gov）
- ・ 郵送

#### (5) 意見提出先

農林水産省消費・安全局農産安全管理課

### 2. 意見募集の結果

#### (1) 御意見提出者数

- ・ 電子政府の総合窓口（e-Gov）      0通
- ・ 郵送    0通

#### (2) 御意見の延べ総数      0件